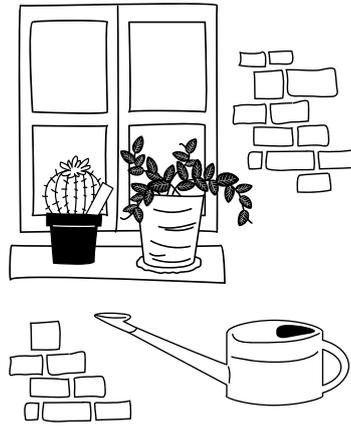


ナ・ハンギングを中心に基礎から応用までの学習やお部屋のインテリアとして観葉植物をアレンジした癒しの空間を作るグリーンガーデンをお客様が求めるもの、知識や技術を活かしたアドバイスをさせて頂いております。

楽しく植物にふれていただきながら、基本を学んでいただけだと思えます。これからお花や観葉植物において、楽しく過ごせる空間を作って頂き、ガーデンの魅力を感じて、生涯に活かし、趣味から資格取得へとチャレンジしてガーデンングを広めていきましよう。



食を楽しむ

ナチュラルフード学習指導員
森川妙子 (神奈川県)

私は若い頃に自分の体形を気にするあまりに、ダイエットを繰り返し健康まで損なってしまうました。夜の食事を抜いたりして一日の食事の内容は決してバランスのとれたものではありませんでした。

その後、栄養の勉強をして、食事についての興味が出てきて自分で工夫をする様になりました。ところが人の人生というものはそう計画的に行かないもので、目前の課題が山積してしまい、その結果食事が疎かになるとい悪循環を生んでしまいました。

自分の健康を管理することに欠かれない食事や生活スタイルを確立する為には自分にできる範囲での行動が大切であることはもちろんですが、誰でも食事は必ず摂らなければなりません。食べることは命の源であると思えます。

そして食べるためには自然の摂理と法則の循環が大切であると思えます。最近では、食材ですら満足に入らなくなる危機的状況であると思えます。私たちは一人ひとりもつと食に対して意識を持ち、どのようにして食べ物を作られているか関心を持つことも重要であると思っております。

私は今までの経験を生かして、楽しい食事とおやつ作りや食事の摂り方を研究していきたいと思っております。食事が楽しいことであることが重要であると思っております。

私たちにとって食べることや食事作りが楽しいことが、人が生きる上で大変に重要であると思うからです。私の経験と知識が、皆様の健康と楽しみの役に立てればとの思いで、この

活動を続けていきたいと思っております。

「ハーブに感謝」

ハーブ学習指導員
荒井貞子 (秋田県)

ハーブと出会って35年、一株のローズマリーに癒され頑張れた若き日思い出します。

夫の退職後、生まれ育った地方に戻り、都会では出来なかつた地植えのハーブ栽培や野菜作りバラ作りを続けて14年になりました。

学習指導員としての活動は行っておりませんが、ご近所や地域の方々との交流を自分流で続けています。

家業が花屋で今は使っていない倉庫を苗作りの作業場にして、年中気温10

◀倉庫入り口のハーブたち！ローズマリーの花が満開です



℃の地下室を作物や球根の保管場所に活用しています。

倉庫の周りや庭にハーブと100株のバラを咲かせ、畑にはハーブやベリを植え、ハーブの特性を生かした病虫害対策で農薬をできる限り使わない野菜作りをしています。

その他、木酢液にトウガラシやニンニク、ドクダミの生の葉を加えてエキスを作り、薄めて散布する病害虫防除が安全でおいしい野菜作りに最適と考えて、自ら育てたハーブを利用し散布しています。

又、畑の脇が杉林で半日陰になる環境を生かして、ミョウガ栽培を13年程続けた結果、増えて沢山の収穫量があり、毎年、埼玉県蔵市にお住まいの皆様へ食べていただいています。



▶ハーブエキスを散布して育てた大根！

今も変わらずローズマリーが好みで、ツンとくる刺激的な香りが記憶力を高め若返り効果もあり、たるんだ肌やむくみの改善や毛髪の成長を促す働きもあるのが私向きです。

北国では地植えに向かないので鉢植えですが、挿し木で簡単に増やせるので、花を見に来られた方々に、ハーブの話添えてお土産に差し上げています。

これからもハーブにパワーを貰いながら体力の続く限り、ハーブと共に生きていけたら幸せです。

生涯学習の教育・研究・実践に携わって

スパー速読・記憶術学習指導員
堂本雅也 (大阪府)

私は複数の大学で非常勤講師として社会教育主事養成課程の科目(生涯学習概論・生涯学習支援論・社会教育経営論・社会教育実習・社会教育演習・社会教育課題研究)を担当し、学生とともに生涯学習について探究している。



全国的に社会教育主事養成課程が縮減し、生涯学習を専門的に学べる場が限られていくなかで、あらためて生涯学習のあり方やその意義が問われているといえる。大学の講義では、その点について学生とディスカッションを積み重ねているところである。

そもそも生涯学習は、極めて多義的な概念であり、意図的・組織的に行われる学習に加えて、無意図的・非組織的に行われる偶発的な学習も含まれる。このような日常生活に根ざした多様な学びを包括するところに、生涯学習を研究することの面白さと難しさが混在している。これまでに私は、大阪市立総合生涯学習センターの調査研究事業(平成27年度、28年度、令和3年度、4年度)に携わり、大阪市の生涯学習推進員や、はぐくみネットコーディネーター(地域学校協働活動推進員)へのアンケート・インタビュー調査を実施するなかで、地域で生涯学習活動を推進する人々の実態(現状と課題)の把握に取り組んできた。

また、これらの教育・研究活動と並行して、大阪市生涯学習インストラクター登録前研修や、堺市生涯学習サポート(養成講座)の講師を担当し、地域における社会教育・生涯学習の人材養成に携わる機会をいただいている。

一連の教育・研究・実践に取り組むにあたっては、学習指導員講習のテキストを通じて得た知識と技術が大いに役立っている。今後も生涯学習の理論と実践の統合をめざして、日々精進していきたい。これこそが、私にとつての生涯学習である。

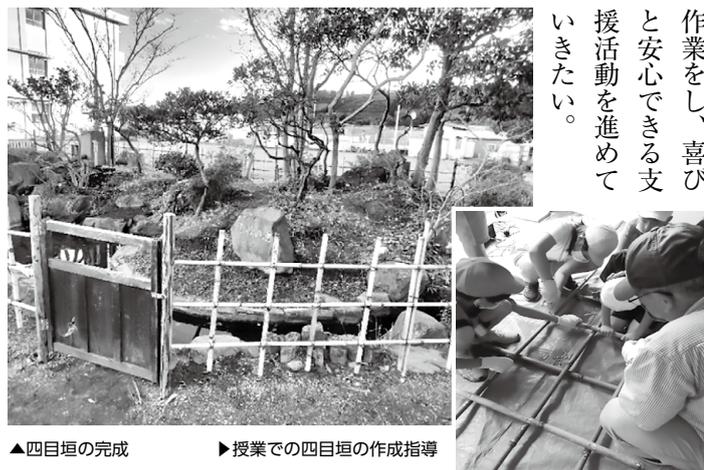
地域でのボランティア活動

庭園技能学習指導員
寺原健司 (静岡県)

庭園技能学習指導員として早5年、その間、町内会長、民生委員を経験する中、町内会公園の木々、妻の実家の庭木を教材に学習した事を元に、実践し実力を養ってきました。知人の竹林が高齢にて荒れ放題で困っていた為、環境改善と有効活用を考え、小学生にSDGSの理解と体験を指導したく、校庭内の庭園改善を提案し、授業で四ツ目垣作成を4年生へ指導作成、活動経験発表会も実施、伐採した竹林の跡地から出たタケノコ掘りも実施し、無料で配布しました。

地域内公園の雑草撲滅改善に取り組み、焼却場から出るチップを無料で頂き、竹林から出た竹で土止めを造り、そこに敷き詰め、雑草対策を実施。清掃作業の大幅な低減に繋げ、地域の方々に継続性あるボランティア活動への参加と理解に繋がってきています。

今年8月には高齢者の困り事を共に助け合う、「支え合いボランティア活動」をスタートさせました。自分自身は主に庭園管理を担当しており、目指す姿は、特に花壇、庭木の管理で困っている一人住まいの高齢者の方々と共に作業をし、喜びと安心できる支援活動を進めていきたい。



▲四目垣の完成

▶授業での四目垣の作成指導

「さかえ・グリーン協力隊」

庭園技能学習指導員
佐久間正夫 (神奈川県)

私たちの住む横浜市栄区は横浜の中心でとりわけ高齢化が進んでいる地域です。高齢化社会に高齢者が立ち向かって暮らしています。

この地域は庭付き一戸建てが多いの

ですが、造園会社に依頼していたものの、費用が高額の為、なかなか頼めなくなり、庭が荒れてしまっていました。困り果てた結果、地域の社会福祉協議会や地域ケアプラザ、ケアマネージャーに相談が多く寄せられる状態となっていました。

そこで、定年退職後、家にこもりがちな男性の活動の場所を作ることで、高齢者世帯の困りごとの解決につなげたいと思い、平成三十年十月に庭園技術学習指導員になりました。

その後、さかえ・グリーン協力隊を立ち上げましたが、依頼件数が多くなり、剪定作業が追いつかなくなっていました。メンバーを増やす事で一人でも多くの人に、剪定作業の楽しさを知って欲しいと思います。

そして剪定ボランティア実践講座を実施し、メンバーを募って会員を増やす事ができました。会員になる際、庭園管理士の資格を条件にする事で、全員が庭園管理士になることができました。

現在メンバーは、定年退職後の六五歳から八二歳です。その為、リタイヤするメンバーが毎年数人出ています。その都度、剪定ボランティア実践講座を開催しています。

最後に、草の伸び放題、植木も伸び放題のお庭が作業後に綺麗になり、依

頼者の大喜びした笑顔が我々の誇りです。そして仲間たちと楽しみながら社会参加・社会貢献している事が、生きがいのひとつです。「お庭の困りごとを通して元気な地域づくり」の為に頑張ります。年々歳を重ね、汗だくバテバテになっていきますが、今後も元気に活動を続けていきます。

花の拠点(はなふる)に魅せられて、頑張っています

庭園技術学習指導員
菅頭 満 (北海道)

私は現在73歳です。2020年11月にできた公共公園で働いております。7つのテーマエリアを、在籍会社で植物管理委託を受けて、日々管理を担当するガーデナーさんと共に作業させて頂いております。花々や樹木の細かな手入れをしていると、自然と熱が入ります。

私の仕事は樹木管理です。移植、剪定作業をしていると、来園者から、いろいろと質問があり、その都度、説明に汗だくです。不明な点はスマホの力を借りながら返答しています。休憩時間には、他のガーデナーさんにハサミの砥ぎ方、剪定の方法や日々の樹木手入れ方法など実践歴や当協会で習得した知識をもとに、お話をさせて頂いております。逆に花に関する事は教えて

貰えます。今年の夏、厳しい暑さの中での作業が多く、熱中対策と健康には留意しながら、日々楽しく作業しています。一年の中で、4月から11月末までの8ヶ月間頑張っています。高齢になると覚えるより忘れる事が多いので教本を出して、再確認しながら努力しています。今少し、頑張っていきたいと思っ

黒松の剪定

庭園技術学習指導員
泉 進 (岩手県)

「これからは、この松の面倒を見る番か」しみじみと言われたお施主様の言葉に、ジーンと心打たれました。大切にされてきたお施主様の黒松を、これからは大切に手入れしてまいります。

変に思われるかもしれませんが、いつも松の手入れをしますと、新人の頃の思い出を懐かしく思い出しながら、手入れをしています。それは修業時代に初めて松の手入れを任された経験がある方に共通する松脂(ヤニ)についての体験です。私たちは、松の樹形を維持するために、松の新芽を手で掻き、古葉を引きます。折った新芽や引いた葉から樹液が出て、松脂で手がべとつき、やがて手が真っ黒になります。こ

の松脂は洗ってもなかなか落ちなくて、一日では落ち切らないこともあります。なのに、この真っ黒な手を見ると、憧れであった松の手入れをやっと任せていただいたという感動の方が強いせいか、真っ黒な手を誇らしく思うのです。松の手入れの伝統を私たちが受け継いで行っていることは、古来からの伝統を大切にされてきた方々がいるという事の証明でもあります。お施主様の立場からも職人の立場からも先人の想いを大切に受け継いでこられた方に、尊ぶ心で一杯です。



お詫びと訂正

前号(Wewe 22号)で北川ともみさんの学習指導員名称をハーブ学習指導員と紹介しましたが正しくは、ガーデニング学習指導員です。深くお詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。(編集部)

シリーズ

半	学
半	教



AIは「問う」能力を求める

白石克己 当協会理事 元・佛教大学教育学部教授

検索で「問う」

何か困ったことがあった時、あなたはスマホで検索しますね。ニュースで知った有名人やお店、駅からの道順など、手元にあるスマホで、すぐに調べられます。AI（人工知能）はたしかに便利です。

しかし、学習指導員として専門的な知識や技術を指導する活動にはAIを上手に利用する知識や技術が求められます。検索ひとつとっても使いこなすのは容易ではありません。

例えば私のパソコンで「学習 指導」と二つの単語（キーワード）で検索したら、文部科学省の学習指導要領関連の記事がリストアップされてきました。学校教育にかかわる人には有用でしょうが、ふつうの学習指導員や社会人にはあまり関係がありません。

そこで今度は同じような単語、「学ぶ 教える」で打って試すと、今度は関連する本や英語教育法、さらにシニア生活応援サイトとか社会人の学び直しなどの記事が候補に出てきました。「学習 指導」とは違う検索結果です。質問に対する回答が違うのです。

最近、性能がよくなった対話型AI、

チャットGPTは、もつとやっかいな質問に文章でくわしく回答してくれます。文章ではなく音声を入力しても応えてくれます。AIオンライン英会話アプリも登場しているほどです。

しかし、です。便利ですが、回答が正解とは限りません。もつともらしい答えが出てきますが、まちがった回答もあります。ですから、答えが事実かどうか、チェックする読解力や判断力が必要です。

「読む能力」と「書く能力」

したがって、インターネットの急速な発展から求められる能力は、先の「問う能力」とともに「読む能力」と「書く能力」も欠かせません。

昔から基礎的な能力として「読み書き ソロバン」と言われてきました。しかしソロバン（計算や応用問題）でも与えられた問題を正確に理解することが必要です。÷の記号（割り算）があるのに＋の記号と見誤って足し算をしたら間違った答えになります。また文章で書かれた数学の問題も文章題を正確に読解しないと式をたてることができません。さらに、書くこと、算数や数学でも方程式を書いたり平行四辺形などの図形を正確に書いて

たりすることも必要です。

つまりソロバン（計算や応用問題）でも「読む能力」と「書く能力」とが必要なのです。

その上、インターネットの時代には文章や数式の理解だけではなく、音声や動画などを正確に読み取る必要があります。また作文やメールを書く能力だけではなく、動画（映像）や写真で相手にわかるように伝えることも必要です。いわゆるメディア・リテラシーとかITリテラシーでは、従来より広い意味での「読む能力」と「書く能力」とが求められます。

「問う能力」

もう一つ重要なメディア・リテラシーが先に書いた「問う能力」です。通信教育の弱点の一つは問題（課題）に対して解答（回答）を書くことばかり求められるので、問うことがおろそかになります。

私は長い間、大学通信教育の現場にいましたが、質問用紙があるのにそれを利用する学生が少ないので残念に思っていました。教科書を読みレポートを書くのに必死で、質問する余裕がなくなるかもしれません。



しかし、レポートの課題そのものが曖昧のときなどには、課題が何を求めているのか質問したほうがよいのです。またテキストが学術論文のように正確だが難解な文章もありますから、質問をすべきです。

本協会に所属する日本創芸学院や日本園芸協会では、インターネット上に専用ホームルームがあり、そこで講師などに質問することができます。もちろん機関紙などで他の人にも役立つ質疑応答が載っています。

質問をすることによって自分が知りたいこと、疑問に思っていることへの答えを「自分用」にもらうことができます。いわばオーダーメイドの回答が得られるのです。質問、疑問は重要な学習法です。

学習指導員名簿

2023年4月1日～2024年2月15日資格取得者 名簿公開を希望しない方は除く

※下記の個人情報、各人の諸活動に資するためのものであり、(公社)日本通信教育振興協会ではその趣旨に基づき掲載しています。
下記の情報を活用される場合は、その意図を理解され、十分なお配慮をお願いいたします。

庭園技能学習指導員

伊藤 英将 ……岐阜県海津市
吉田 博一 ……三重県四日市市
田所 和枝 ……福岡県北九州市



ガーデニング学習指導員

佐藤 信一 ……秋田県横手市
前島 和美 ……埼玉県草加市
中村 かおり ……高知県土佐市
加藤 美佐子 ……熊本県荒尾市
小野 真由美 ……大分県大分市
大坪 理枝子 ……佐賀県佐賀市

ハーブ学習指導員

佐々木 千枝 ……岩手県一関市
清水 優美 ……埼玉県さいたま市
高橋 里美 ……東京都江戸川区

紅茶学習指導員

武田 亜由奈 ……愛知県西尾市



DIY学習指導員

峯邑 義晃 ……神奈川県南足柄市



手づくりパン学習指導員

江藤 由衣 ……宮崎県西都市



ナチュラルフード学習指導員

藤間 裕子 ……神奈川県横浜市
植松 奈々子 ……静岡県静岡市
北谷 智子 ……兵庫県神戸市

学習指導員の方々へのお問い合わせは通教振事務局(TEL: 03-5213-5534 / FAX: 03-5213-5596)へお尋ねください。

令和6年4月1日より 当協会への連絡先が変更になります

公益社団日本通信教育振興協会は一般社団法人日本通信教育振興協会に移行いたします。

これまでどおり生涯学習の振興に寄与すべき事業を進めてまいります。

引き続きのご支援よろしくお願いたします。

法人格の移行と同時に、事務局の移転を行い、連絡先の電話番号が変更になります。

4月1日以降の連絡先は下記の通りです。

一般社団法人日本通信教育振興協会

住所：〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町14-3創芸元代々木ビル

電話：03-5738-5515 FAX：03-5738-5517

ホームページ：http://www.jais.or.jp

メールアドレス：info@jais.or.jp